



PEKING  
UNIVERSITY



SEOUL  
NATIONAL  
UNIVERSITY



東京大学  
THE UNIVERSITY OF TOKYO

## PeSeTo 9

北京大学・ソウル大学・東京大学公衆衛生系大学院連合会議主催シンポジウム

### Challenges and opportunities of Public Health in East Asia

#### 東アジアにおける公衆衛生課題と対応・連携

北京大学・ソウル大学・東京大学の公衆衛生系大学院は2008年4月以来、毎年連合会議を開催し、研究・教育・実践の各分野における情報共有と連携を模索してきました。今回第9回目を迎える本会議では、初めて一般向けシンポジウムを開催します。高齢社会による健康問題や社会の持続可能性への影響・新興感染症・大気汚染や食物汚染による国境を越えたリスクの発生、広がる健康格差問題など、3か国は共通した課題に直面するとともに、東アジア圏特有の社会・文化・歴史的背景を共有しています。公衆衛生課題にどう連携して解決を探ることができるか、公衆衛生系大学院の役割としてなにが求められているか、パネルディスカッションを通じて明らかにしていきます。(同時通訳サービスはありません)

2016年5月14日土曜日 15:00-17:00

東京大学医学部1号館1階 階段講堂

#### プログラム

開催挨拶(川上憲人東京大学公共健康医学専攻 専攻長)

セッション1 中国における公衆衛生課題(座長・東京大学川上憲人教授)

1) 大気汚染による環境問題 (北京大学 Deng, Furong 准教授)

2) 新興感染症とリスク管理 (北京大学 Lu, Qing-Bin 講師)

セッション2 韓国における公衆衛生課題(座長・北京大学 Meng, Qingyue 学科長)

3) 韓国における公衆衛生課題とコミュニティによる健康づくり (ソウル大学 Yoo, Seunghyun 准教授)

セッション3 日本における公衆衛生課題(座長・ソウル大学 Kim, Ho 学科長)

4) 高齢・貧困・災害などの社会リスクと日本の公衆衛生対応 (東京大 近藤尚己准教授)

休憩 (10 min)

パネルディスカッション;

社会・環境リスクにどう立ち向かうか? 公衆衛生系大学院の役割と連携の在り方を探る  
まとめと閉会挨拶 (東京大学 佐々木敏教授)

言語: 英語、事前登録不要、参加自由、無料です